



平成30年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年5月15日

上場会社名 株式会社オークファン 上場取引所 東
 コード番号 3674 URL https://aucfan.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武永 修一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長兼経営管理部長 (氏名) 帖佐 勇志 TEL 03(6809)0951
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第2四半期の連結業績（平成29年10月1日～平成30年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第2四半期	2,494	37.2	51	△54.4	60	△72.1	△26	—
29年9月期第2四半期	1,818	69.0	113	△50.6	216	△8.2	80	△71.0

(注) 包括利益 30年9月期第2四半期 △31百万円 (—%) 29年9月期第2四半期 94百万円 (△62.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第2四半期	△2.69	—
29年9月期第2四半期	8.20	7.77

(注1) 株式会社ネットプライスについては、第1四半期においては、貸借対照表のみを連結し、当第2四半期会計期間より損益計算書を連結しているため、2018年1月から3月の3ヵ月間の業績を連結に反映しております。

(注2) 当第2四半期において子会社化した株式会社ゼロディブの業績については、平成30年4月以降分から連結業績に反映されるため、上記金額には含まれておりません。

(注3) 平成30年9月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式は存在するものの1株当たり純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第2四半期	5,218	2,474	46.9
29年9月期	4,216	2,506	58.6

(参考) 自己資本 30年9月期第2四半期 2,445百万円 29年9月期 2,471百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年9月期	—	0.00	—	—	—
30年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年9月期の連結業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	64.1	450	119.2	450	48.6	270	23.3	27.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) 株式会社ネットプライス、 除外 1社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年9月期2Q	9,907,500株	29年9月期	9,907,500株
② 期末自己株式数	30年9月期2Q	53,200株	29年9月期	53,200株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年9月期2Q	9,854,300株	29年9月期2Q	9,841,800株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

決算説明資料は当社ウェブサイトにて平成30年5月中旬に、開示する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「あらゆる人が、あらゆる場所で、あらゆるモノを売り買いできる新たな時代を創る」というミッションを掲げ、「グローバルな循環型消費社会の先駆者であり続ける」というビジョンのもとに、ネットオークション・ショッピングの比較検索サイト「オークファン」をはじめとした情報提供(インターネットメディア)事業、卸企業様・メーカー様等を対象としたマーケットプレイス運営事業及び、インターネット上での販売活動支援等を行うソリューション事業を展開しております。

当社グループは、消費者に届けられることなく廃棄される約22兆円の法人在庫(※)に着目し、創業来蓄積した大量の商品実売データを基に、これらの在庫を「適切な価格で」「適切なマーケットに」お届けする支援を行って参りました。特に、2017年12月からはお買い得品EC事業の株式会社ネットプライスを子会社化し相場データのみならず、自ら積極的に流通に関与するマーケットプレイス事業への本格展開も果たしました。

本年度は、22兆円の巨大市場の攻略に向け、事業の選択と集中を実施しながら事業推進を行っております。

当第2四半期連結累計期間における売上高は2,494,738千円(前年同四半期比37.2%増)、営業利益は51,743千円(同54.4%減)、経常利益は60,468千円(同72.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失は26,465千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益80,701千円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

①メディア事業

当セグメントは、創業来のデータの収集・解析基盤及び、これらのデータを活用したインターネットメディア(aucfan.com)の運営を主とした当社グループの基盤となるセグメントであります。当社ならではの流通相場データを活用した新規サービスの企画・開発や、オークション教育・個別サポートサービス「オークファンスクール」などの周辺サービスの商品開発、データ基盤の開発原価拡大などにより、売上高868,227千円、営業利益18,444千円となりました。

②マーケットプレイス事業

当セグメントは、22兆円の巨大市場への足がかりとして最も重要なセグメントであると位置づけております。法人向け商品流動化支援事業「リバリュー」及び国内最大級のBtoB仕入れサイト「NETSEA」においては積極的な事業拡大の優先、また2017年12月から当社の連結子会社となった株式会社ネットプライスにおいては慢性的な赤字体質からの脱却に向けた体制変更等に注力した結果、売上高1,360,959千円、営業利益29,536千円となりました。なお、株式会社ネットプライスについては、第1四半期においては、貸借対照表のみを連結し、当第2四半期会計期間より損益計算書を連結しているため、2018年1月から3月の3ヶ月間の業績を連結に反映しております。

③ソリューション事業

当セグメントは、データとマーケットプレイス(販路)を繋ぐ戦略的投資事業を含む、当社グループにとって重要なセグメントであります。複数のEマーケットプレイスへの同時出品・在庫連動等が可能なASPサービス『タテンポガイドNEXT』の早期黒字化に向けた営業・開発体制の立て直しに注力した結果、売上高197,112千円、営業損失85,970千円となりました。なお、株式会社ゼロディブはソリューション事業に区分しておりますが、当第2四半期は貸借対照表のみを連結しているため、同社の業績は第3四半期以降に寄与してまいります。

④インキュベーション事業

当セグメントは、事業投資活動を通じて、当社が中長期に亘り競合優位性を構築・維持していくための知見とネットワークを得ることを目的とした事業セグメントであります。当第2四半期においては、保有しております会社株式の売却及び、投資先企業へのコンサルティング等を実施した結果、売上高117,591千円、営業利益82,850千円となりました。

※ 出所：平成27年度法人企業統計(財務省)などを基に当社試算

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結累計期間において、株式会社ネットプライス及び株式会社ゼロディブの貸借対照表を連結したことに伴い、資産・負債が増加しております。

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりです。

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、5,218,504千円(前連結会計年度末は4,216,731千円)となりました。

流動資産は、3,307,140千円(前連結会計年度末は2,476,630千円)となりました。主な内訳といたしましては、現金及び預金が1,560,549千円、受取手形及び売掛金が604,627千円であります。

固定資産は1,908,569千円(前連結会計年度末は1,736,686千円)となりました。主な内訳といたしましては、のれんが695,850千円、ソフトウェアが473,332千円であります。

繰延資産は2,794千円(前連結会計年度末は3,415千円)となりました。内訳といたしましては、社債発行費が2,794千円であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、2,744,492千円(前連結会計年度末は1,710,720千円)となりました。

流動負債は、1,651,030千円(前連結会計年度末は1,132,652千円)となりました。主な内訳といたしましては、買掛金336,721千円、1年内返済予定の長期借入金388,333千円であります。

固定負債は、1,093,462千円(前連結会計年度末は578,068千円)となりました。主な内訳といたしましては、社債187,500千円、長期借入金899,028千円であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、2,474,011千円(前連結会計年度末は2,506,011千円)となりました。主な内訳といたしましては、資本金が678,414千円、資本剰余金が649,184千円、利益剰余金が1,150,342千円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は1,560,549千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益54,318千円、減価償却費122,627千円、のれん償却額77,524千円などの計上に対し、営業投資有価証券の増加額114,391千円、法人税等の支払額13,719千円などにより、営業活動の結果獲得した資金は198,864千円(前年同四半期は94,884千円の使用)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

敷金及び保証金の回収による収入91,280千円の計上に対し、有形固定資産の取得による支出4,500千円、無形固定資産の取得による支出146,326千円、連結の範囲の変更に伴う子会社株式の取得による支出108,657千円などにより、投資活動の結果使用した資金は173,312千円(前年同四半期は185,218千円の使用)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入金の返済による支出232,707千円、社債の償還による支出62,500千円などの計上に対し、短期借入れによる収入200,000千円、長期借入れによる収入700,000千円などにより、財務活動の結果獲得した資金は504,211千円(前年同四半期は6,147千円の獲得)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の第2四半期連結累計期間は、第1四半期にソリューションセグメントにおいて発生した一時的な費用等の影響により、当初計画からは一部乖離した推移となりました。一方で、当期は事業の選択と集中を進めており、各セグメントにおける収益基盤の強化・多様化は順調に進捗しております。したがって、当社の連結業績予想については、平成29年11月13日に公表した業績予想に変更はございません。なお、業績見通しに変更が生じる場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,028,960	1,560,549
受取手形及び売掛金	356,107	604,627
営業投資有価証券	493,933	608,550
商品	195,361	211,053
仕掛品	-	12,172
貯蔵品	73	593
繰延税金資産	107,437	106,360
未収入金	260,741	145,461
その他	82,054	104,383
貸倒引当金	△48,039	△46,613
流動資産合計	2,476,630	3,307,140
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	70,756	71,947
工具、器具及び備品(純額)	64,490	57,193
その他(純額)	578	4,372
有形固定資産合計	135,825	133,513
無形固定資産		
のれん	733,241	695,850
ソフトウェア	363,183	473,332
その他	56,231	160,498
無形固定資産合計	1,152,656	1,329,681
投資その他の資産		
長期貸付金	60,000	60,000
繰延税金資産	199,593	154,244
その他	188,610	231,130
投資その他の資産合計	448,204	445,374
固定資産合計	1,736,686	1,908,569
繰延資産		
社債発行費	3,415	2,794
繰延資産合計	3,415	2,794
資産合計	4,216,731	5,218,504
負債の部		
流動負債		
買掛金	127,579	336,721
短期借入金	100,000	200,000
1年内償還予定の社債	125,000	125,000
1年内返済予定の長期借入金	295,215	388,333
未払法人税等	60,148	48,802
未払金	240,957	286,501
ポイント引当金	1,307	3,694
その他	182,443	261,977
流動負債合計	1,132,652	1,651,030
固定負債		
社債	250,000	187,500
長期借入金	328,068	899,028
その他	-	6,934
固定負債合計	578,068	1,093,462
負債合計	1,710,720	2,744,492

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	678,414	678,414
資本剰余金	649,184	649,184
利益剰余金	1,176,807	1,150,342
自己株式	△43,251	△43,251
株主資本合計	2,461,154	2,434,689
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,466	10,622
その他の包括利益累計額合計	10,466	10,622
新株予約権	21,346	21,258
非支配株主持分	13,044	7,441
純資産合計	2,506,011	2,474,011
負債純資産合計	4,216,731	5,218,504

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
売上高	1,818,136	2,494,738
売上原価	862,518	1,301,031
売上総利益	955,617	1,193,707
販売費及び一般管理費	842,130	1,141,964
営業利益	113,487	51,743
営業外収益		
受取利息	502	238
為替差益	5,432	—
投資有価証券売却益	90,349	—
投資事業組合運用益	10,894	—
その他	6,280	15,611
営業外収益合計	113,460	15,850
営業外費用		
支払利息	5,120	2,952
為替差損	—	1,732
投資有価証券評価損	4,221	—
その他	665	2,439
営業外費用合計	10,007	7,125
経常利益	216,939	60,468
特別利益		
新株予約権戻入益	50	88
特別利益合計	50	88
特別損失		
固定資産除却損	—	1,788
子会社移転費用	—	4,449
過年度決算訂正関連費用	39,331	—
特別損失合計	39,331	6,237
税金等調整前四半期純利益	177,658	54,318
法人税、住民税及び事業税	32,406	40,510
法人税等調整額	64,549	45,876
法人税等合計	96,956	86,387
四半期純利益又は四半期純損失(△)	80,701	△32,068
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	80,701	△26,465
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△5,603
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,984	156
その他の包括利益合計	13,984	156
四半期包括利益	94,686	△31,912
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	94,686	△26,309
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△5,603

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	177,658	54,318
減価償却費	131,067	122,627
のれん償却額	77,992	77,524
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,069	△1,426
賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,000	—
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△375	△1,288
受取利息及び受取配当金	△502	△238
支払利息	5,120	2,952
投資事業組合運用損益(△は益)	△10,894	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△90,349	—
投資有価証券評価損益(△は益)	4,221	—
売上債権の増減額(△は増加)	△17,786	84,182
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	—	△114,391
たな卸資産の増減額(△は増加)	△123,239	38,501
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,409	△41,164
未払金の増減額(△は減少)	△74,421	△30,226
その他	△6,258	24,071
小計	64,891	215,444
利息及び配当金の受取額	502	238
利息の支払額	△5,277	△3,098
法人税等の支払額	△155,000	△13,719
営業活動によるキャッシュ・フロー	△94,884	198,864
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	175,719	—
投資有価証券の取得による支出	△47,490	—
有形固定資産の取得による支出	△11,972	△4,500
無形固定資産の取得による支出	△118,037	△146,326
差入保証金の回収による収入	—	91,280
差入保証金の差入による支出	△167,037	△1,629
事業譲受による支出	△24,000	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△108,657
その他	7,598	△3,480
投資活動によるキャッシュ・フロー	△185,218	△173,312
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100,000	200,000
短期借入金の返済による支出	△13,200	△100,000
長期借入れによる収入	200,000	700,000
長期借入金の返済による支出	△218,153	△232,707
社債の償還による支出	△62,500	△62,500
リース債務の返済による支出	—	△581
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,147	504,211
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,263	1,825
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△268,692	531,588
現金及び現金同等物の期首残高	1,424,936	1,028,960
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,156,244	1,560,549

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、株式会社ネットプライスは株式の取得により子会社となり、連結の範囲に含めております。なお、みなし取得日を平成29年12月31日としているため、第1四半期会計期間では貸借対照表のみを連結し、当第2四半期連結会計期間より損益計算書を連結しております。

当第2四半期連結会計期間において、株式会社ゼロディブの全株式を取得し同社を子会社としたため、連結の範囲に含めております。なお、みなし取得日を平成30年3月31日としているため、当第2四半期連結会計期間では貸借対照表のみを連結しており、当第2四半期連結損益及び包括利益計算書については同社の業績を含んでおりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額(注)
	メディア	マーケットプレイス	ソリューション	インキュベーション	計		
売上高							
外部顧客への売上高	743,323	802,875	271,937	—	1,818,136	—	1,818,136
セグメント間の内部売上高又は振替高	39,365	8,565	13,075	—	61,006	△61,006	—
計	782,689	811,441	285,012	—	1,879,143	△61,006	1,818,136
セグメント利益又は損失(△)	85,075	93,593	△70,664	—	108,003	5,483	113,487

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去5,483千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年10月1日至平成30年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額(注)
	メディア	マーケットプレイス	ソリューション	インキュベーション	計		
売上高							
外部顧客への売上高	831,607	1,356,382	189,157	117,591	2,494,738	—	2,494,738
セグメント間の内部売上高又は振替高	36,620	4,576	7,955	—	49,152	△49,152	—
計	868,227	1,360,959	197,112	117,591	2,543,891	△49,152	2,494,738
セグメント利益又は損失(△)	18,444	29,536	△85,970	82,850	44,860	6,882	51,743

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去6,882千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間より、「マーケットプレイス」セグメントにおいて、株式会社ネットプライスの全株式を取得し子会社化いたしました。当該事象によるのれんの増加額は、27,799千円であります。

また、当第2四半期連結会計期間に、「ソリューション」セグメントにおいて、株式会社ゼロディブの全株式を取得し子会社化いたしました。当該事象によるのれんの増加額は、12,333千円であります。

3. 報告セグメントの変更に関する事項

前連結会計年度において、新たにインキュベーション事業を開始したことに伴い、「インキュベーション事業」を報告セグメントに追加しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。